

第7回緊急消防援助隊全国合同訓練

緊急消防援助隊全国合同訓練について

■ 緊急消防援助隊は、平成7年阪神淡路大震災を契機に創設し、その後、概ね5年ごとに全国合同訓練が実施されている。

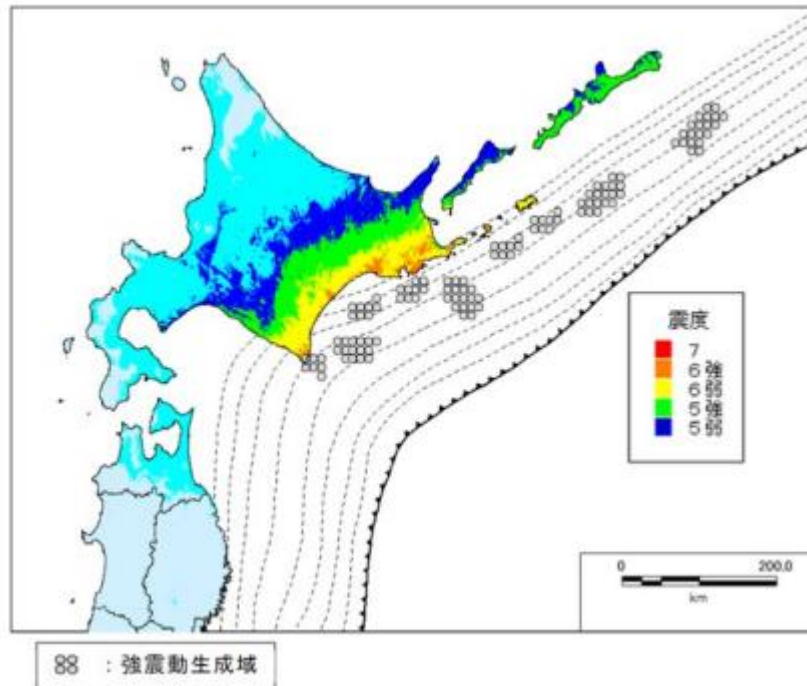
■ アクションプランの検証等を目的に、全都道府県が参加する最大規模の訓練

※アクションプラン（AP）～全国から広く応援が必要となる地震災害ごとに消防庁長官がAPを定めている。

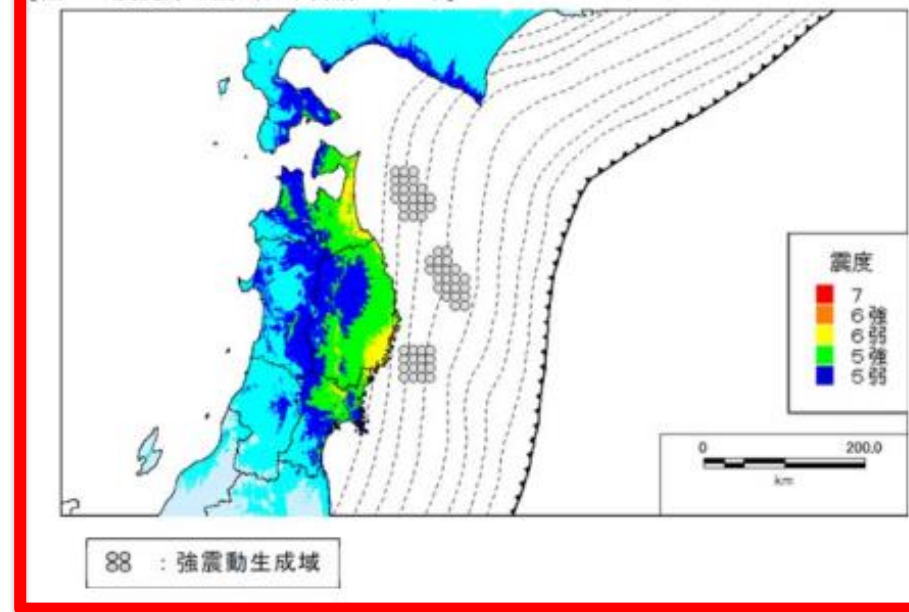
	実施年度	実施場所	訓練想定	参加隊	参加人員
第1回	H7年度	東京都	首都直下地震	135隊	1,500名
第2回	H12年度	東京都	首都直下地震	206隊	1,922名
第3回	H17年度	静岡県	東海地震 （南海トラフ地震に統合）	386隊	1,953名
第4回	H22年度	愛知県	東南海地震 （南海トラフ地震に統合）	411隊	2,139名
第5回	H27年度	千葉県	首都直下地震	582隊	2,361名
第6回	R4年度	静岡県	南海トラフ地震	678隊	2,776名
第7回	R8年度	北海道・宮城県	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震	調整中	調整中 ²

日本海溝・千島海溝周辺海溝型アクションプランについて

【図2 震度分布図（千島海溝モデル）】



【図1 震度分布図（日本海溝モデル）】



【適用基準】

【左図】 ①北海道震度6強＋大津波警報（北海道～千葉県）

【右図】 ②東北地方震度6弱＋大津波警報（北海道～千葉県）

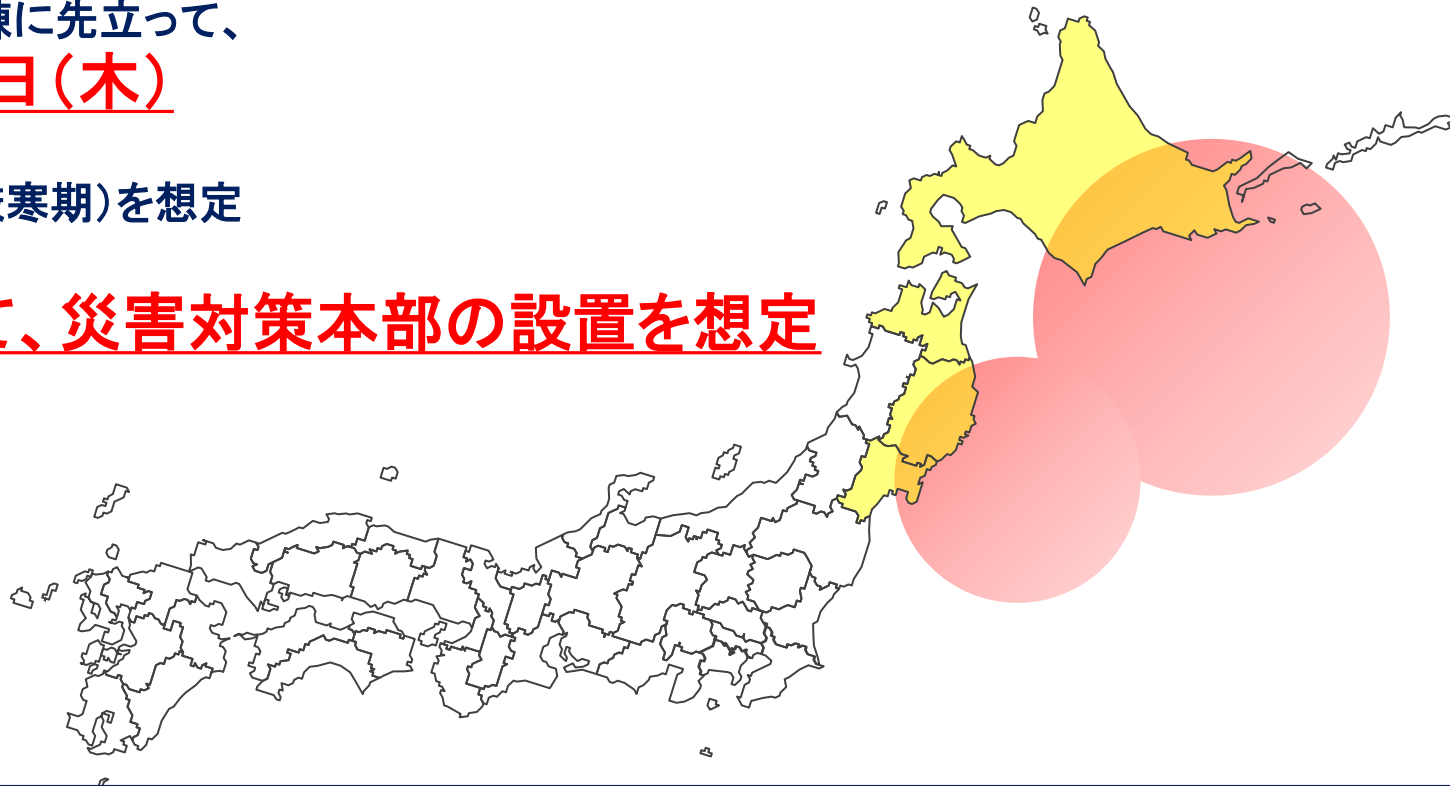
図上訓練について

- 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の発生を想定し、
消防庁、北海道、青森県、岩手県、宮城県で一斉に実施

- 実施時期は、実動訓練に先立って、
令和8年7月30日(木)

- 災害発生時期は冬(厳寒期)を想定

- **各道県において、災害対策本部の設置を想定**



- ・ 北海道庁、青森・岩手・宮城県庁【災害対策本部・消防活動応援調整本部】
- ・ 各消防本部（函館・苫小牧・釧路を予定）【指揮本部・指揮支援本部】
- ・ ヘリポート（丘珠空港 防災航空室）【航空指揮本部】等を会場とした訓練を予定

実動訓練について

宮城県（総合）



11月14日（土）、15日（日）

津波等の複合災害を想定した、多数の実動訓練を展開

北海道（進出・宿営等）



12月17日（木）、18日（金）

あらゆる手段（フェリー・飛行機・新幹線等）で
北海道へ進出し、厳寒期におけるの宿営を検証